

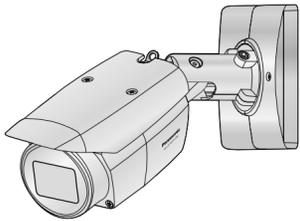
Panasonic

取扱説明書 設置編

工事説明付き

ネットワークカメラ

品番 **WV-S1511LDN**



保証書別添付

本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用の前に」の「安全上のご注意」（13～15ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

Ns0917-1109 PGQX2193YA Printed in China

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でのお使いのみに限ります。日本以外でのお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ **使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。**

■ **その他ご不明な点は下記へご相談ください。**

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 ツインダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。 (土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、取扱説明書 基本編 (CD-ROM 内)、取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM 内) の「故障かな!?’で症状を確かめてください。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」(Readme.txt)をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■**まず、お買い求め先へ** ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは 「故障かな!?’(付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。	●製品名 ネットワークカメラ ●品番 WV-S1511LDN ●故障の状況 できるだけ具体的に
--	--

●**保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用	※ 補修用性能部品の保有期間 7年
部品代 部品および補助材料代	当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。
出張料 技術者を派遣する費用	

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編(本書)**：設置手順、取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。
 - 取扱説明書 基本編(CD-ROM内)**：本機に関する基本的な内容を記載しています。
 - 取扱説明書 操作・設定編(CD-ROM内)**：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。
- PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

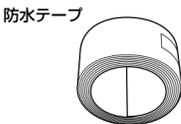
付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編(本書).....1式	CD-ROM ^{※1}1枚
ご使用の前に.....1冊	コードラベル ^{※2}2枚
保証書.....1式	

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
 ※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

以下の部品は取付工事に使用します。

カメラ取付台カバー.....2個	2P電源ケーブル.....1本
カメラ取付台カバー固定ねじ.....3本	落下防止ワイヤー.....1本
(M3×6 mm、1本は予備)	ワイヤー取付金具固定ねじ.....2本
防水テープ.....1個	(M3×10 mm スプリングワッシャー付き、1本は予備)
RJ45防水コネクタカバー.....1個	ワイヤー取付金具.....1個
RJ45防水コネクタキャップ.....1個	補助ハンドル.....1個
4Pアラームケーブル.....1本	



設置の前に

付属品以外に必要なもの

本機を取り付ける前にカメラアーム部に付いている青い保護テープを外してください。それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

取付方法	推奨ねじ	取付方法の説明
カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合(天井裏、壁裏面で接続のスペースがある場合)	M5/4本	【タイプ1】
スイッチボックスなどに取り付ける場合 ※必ず金属製のスイッチボックスをご使用ください。	M4/4本 ²	【タイプ2】
WV-Q120A(カメラ取付金具：約510 g 別売り)を使って天井または壁面に取り付ける場合(天井裏、壁裏面で接続のスペースが無い場合)	M5/4本 ³	【タイプ3】

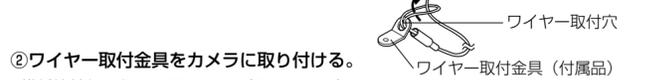
- ※1 本機を天井または壁面に取り付けるときは、必ず落下防止ワイヤー(付属品)を取り付ける必要があります。落下防止ワイヤー固定用にM6のボルトナットまたはアンカーボルト(最低引抜強度724 N {74 kgf})を準備してください。
- ※2 外径φ7.5~φ10 mmの平ワッシャー付きかつスプリングワッシャー付きM4ねじをご用意ください。
- ※3 本機をWV-Q120Aに固定するねじ4本(M5)はWV-Q120Aに付属されています。取り付け方法は、WV-Q120Aの取扱説明書も参照してください。

- 重要**
- 取付ねじ(もしくはアンカーボルト)の最低引抜強度は1本あたり724 N {74 kgf} を確保してください。
 - ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
 - 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に設置する場合は、十分な補強を施してください。

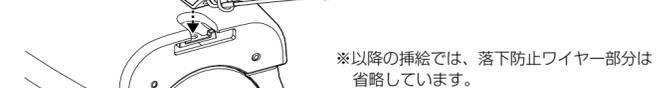
設置の前に

カメラの準備をする

【1】落下防止ワイヤーを取り付ける。
 ①落下防止ワイヤー(付属品)をワイヤー取付金具(付属品)のワイヤー取付穴に取り付ける。



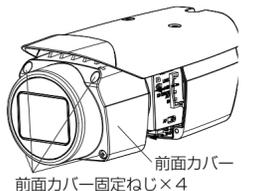
②ワイヤー取付金具をカメラに取り付ける。
 推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}



※以降の挿絵では、落下防止ワイヤー部分は省略しています。

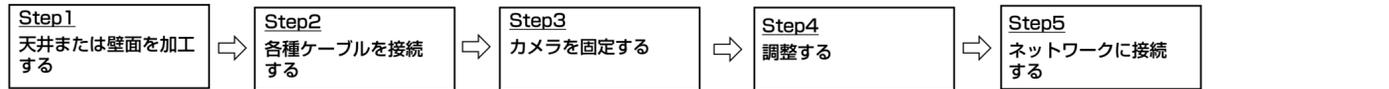
【2】前面カバーを取り外す。
 前面カバー固定ねじ4か所を緩め、前面カバーを取り外す。

- 重要**
- カメラを設置・調整する際は前面カバーを一旦取り外すので、水滴などがかからないようにしてください。



設置する

設置工事を5ステップで説明します。

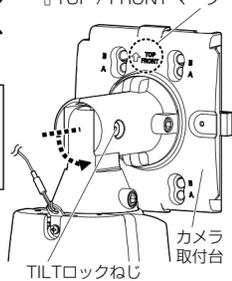


●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

Step1 天井または壁面を加工する ※カメラの固定方法は3通りあります

【共通】TILTロックねじを対辺5 mmの六角レンチ(別途調達)を使って1回転ほど緩め、カメラを下に向けたあとに仮締めする。

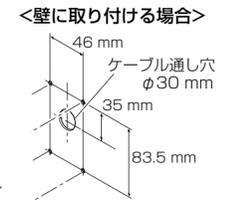
- 重要**
- カメラの取付高さ(取り付け後カメラの一番低い部分)が床面から2 m 80 cmより高い位置になるように取り付けてください。



【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

カメラを天井または壁面に取り付け位置を決め、右図に示すような固定用と配線接続用の穴をあける。

※穴径および深さは固定用のねじまたはアンカー(4本(M5：別途調達))の仕様に合わせて決めてください。



メモ

- 壁面に取り付けの場合、ケーブル通し穴が上側になるように穴をあけてください。
- 天井に取り付ける場合、ケーブル通し穴がカメラを向ける方向になるように穴をあけてください。
- カメラの側面ケーブル通し穴(Step3 カメラを取り付ける【Type1】②の挿絵参照)を使って配線する場合は、右図中の「ケーブル通し穴」は不要です。

【タイプ2】スイッチボックスなどに取り付ける場合

天井または壁面を加工する作業はありません。

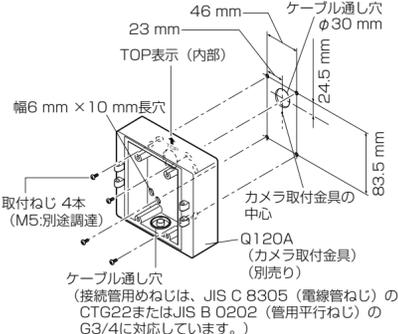
- メモ**
- スイッチボックスなどを使用する場合、2つ並べて使用することをお勧めします。(片側にカメラを固定し、空きボックス側へ配線すればケーブルの接続が容易になります。)

【タイプ3】WV-Q120A(カメラ取付金具)(別売り)を使って天井または壁面に取り付けの場合(WV-Q120Aについて以下Q120Aと省略しています。)

※壁面に取り付けの場合を例に説明します。

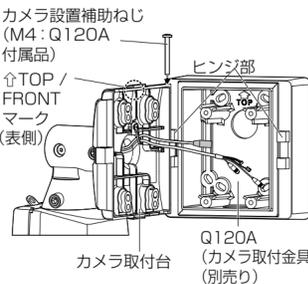
①カメラ取付金具を壁面に固定する。

- 右図に示すような寸法のねじ穴および配線用穴をあける。(ケーブル通し穴を使って側面より接続する場合は、ねじ穴のみをあけてください)
- カメラ取付金具内部の刻印「TOP」表示を上側に向けてください。
- ねじ4本(M5：別途調達)で、カメラ取付金具を直接壁に固定します。最低引抜強度：724 N {74 kgf} /1本あたり
- 屋外に設置するときは、ケーブル通し穴とねじ穴を防水処理してください。



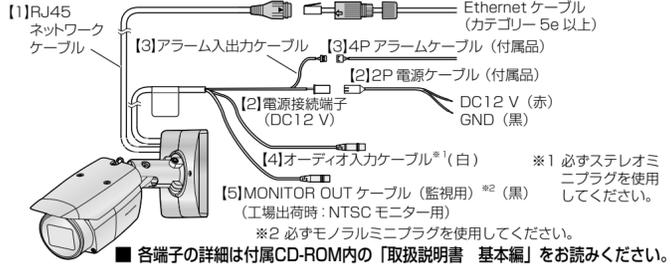
②カメラ取付金具にカメラ取付台とカメラを仮固定する。

- カメラ設置補助ねじ(M4：Q120A付属品)を使って、カメラ取付金具の左右どちらかのヒンジ部にカメラ取付台を仮取り付けし、開閉できるようにします。
- カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように固定してください。
- 左右どちらか近くに壁がある場合は、壁の反対側のヒンジ部に取り付けてください。
- カメラ取付台はカメラ取付金具のヒンジ部へ次の締付トルクで固定してください。



推奨締付トルク：0.78 N・m {8 kgf・cm}

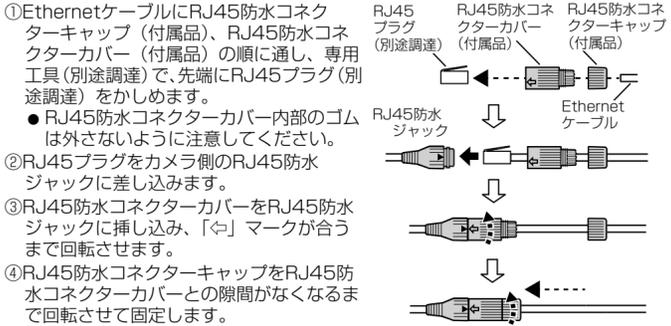
Step2 ケーブルを接続する



- 重要**
- 設置作業中に電源が入らないようにシステムの電源 (PoEハブやカメラに給電する装置の電源など) を切断しておいてください。
 - DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。

【1】RJ45ネットワークケーブルとEthernetケーブルを接続する。

- 重要**
- RJ45防水コネクタ (付属品) 部分を手順に従って正しく組み立てていない場合は十分な防水機能が発揮できません。また、RJ45防水コネクタ部分を雨や水が常にかかる場所に設置しないでください。
 - Ethernetケーブルの最大長は100 mまでで、外形はφ5 mm～φ6.5 mmです。
 - RJ45防水コネクタを外す場合は、必ず接続と逆の手順で行ってください。(RJ45防水コネクタカバーの「<」マークがRJ45防水ジャックの「▶」マークに合った状態でRJ45防水コネクタカバーを外そうとすると、RJ45防水ジャック部分が破損する場合があります)

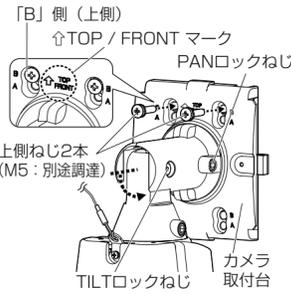


Step3 カメラを固定する ※カメラの固定方法は3通りあります

【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

①上側のねじ2本 (M5：別途調達) でカメラを固定する。

- ※最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
- カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

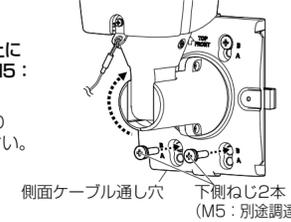


メモ

- 壁面に取り付ける場合、カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように設置してください。
- 天井に取り付ける場合は、カメラを向ける方向に「↑TOP / FRONT」マークが向くように設置してください。
- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台の側面ケーブル通し穴 (手順②の挿絵参照) から配線を引き出してください。

②PANロックねじを1回転ほど緩めカメラを上に向けたあとに仮締めし、下側のねじ2本 (M5：別途調達) でカメラを固定する。

- ※最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
- カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

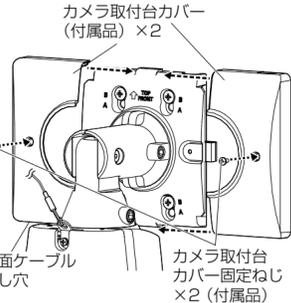


③カメラを下に向け、カメラ取付台カバーをカメラ取付台カバー固定ねじ2本 (M3×6 mm、付属品) でカメラ取付台に固定する。

- 推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}

メモ

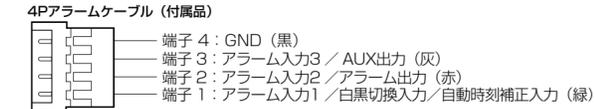
- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台カバーの側面ケーブル通し穴をニッパー等で切り取ってケーブルを通してください。



【2】ACアダプターまたは外部電源を接続する場合は2P電源ケーブル (付属品) を使用してカメラに接続する。

2P電源ケーブル (付属品) にDC12 V出力のACアダプター (WV-PS16(別売り)、あるいは市販品) の出力ケーブルを接続します (赤：DC12 V側、黒：GND側)。

【3】必要な場合は4Pアラームケーブルを接続する。



メモ

- お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

【4】必要な場合はオーディオ入力ケーブルとマイクまたは外部音声ラインを接続する。

【5】必要な場合はMONITOR OUTケーブル (監視用) に監視用モニターを接続する。

重要

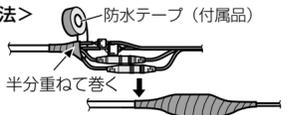
- ネットワークに接続しない運用する場合、ケーブルの防水処理をする前に、「Step5 ネットワークに接続する」を参照して一時的にネットワークに接続し、画質調整などを行ってください。
- 弊社製カメラ駆動ユニットによる同軸ケーブルを経由しての電源供給には対応していません。弊社製カメラ駆動ユニットを接続しないでください。

【6】露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をする。

本体側は防水ですが、ケーブル端、WV-Q120A (カメラ取付金具) 内部は防水対応ではありません。各ケーブルの接続部は以下のようにして防水処理をしてください。

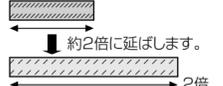
<Ethernetケーブル以外のケーブルの防水処理方法>

防水テープ (付属品) を使用し、右のようにして防水処理をしてください。



重要

- テープを約2倍の長さに引き延ばし (右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
- Ethernetケーブルを接続しない運用する場合、【1】の③と④を参考にして、RJ45防水ジャックにRJ45防水コネクタカバー (付属品)、RJ45防水コネクタキャップ (付属品) を取り付け、防水テープ (付属品) でRJ45防水コネクタキャップの穴をふさぐように防水処理をして、水が入らないようにしてください。



Step4 調整する

【1】カメラ本体の向きを下向きからカメラが正面に見える向きに変更して仮固定する。

【2】カメラ本体のMONITOR OUT端子 (調整用) にピンケーブル (別途調達) を取り付け、調整用モニターを接続する。

- MONITOR OUTケーブル (監視用) に監視用モニターを接続した場合、調整用モニターに映像が正常に表示されない場合があります。その場合は監視用モニターの接続を外し、調整後に再接続してください。

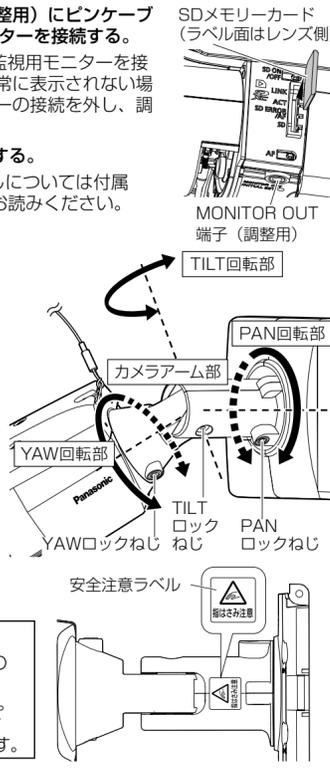
【3】必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。

- SDメモリーカードの取り付け・取り外しについては付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。

【4】カメラの電源を入れる。

【5】カメラの向きを調整する。

- ①カメラアーム部根元のPANロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って緩めます。カメラを左に向けたいときは正面から見て時計回り (+) に、右に向けたいときは反時計回り (-) に回転させます。(PAN回転範囲：±180°)
- ②カメラアーム中央部にあるTILTロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って緩め、おおよその向きを合わせます。(TILT回転範囲：0°～100°)
- ③カメラが動かない程度にPANロックねじとTILTロックねじを仮締めします。
- ④YAWロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って緩め、カメラ本体を回転させて、カメラの傾きを調整します。(YAW回転範囲：-190°～+100°)



重要

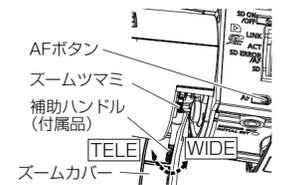
- TILT角度を変更する際は、指が挟まれるのを防止するため、安全注意ラベル周辺のTILT回転部を触らないようにしてください。
- PAN回転部は±180°以上回さないでください。内部ケーブルがよじれるおそれがあります。

メモ

- PANロックねじ、TILTロックねじ、YAWロックねじは約1回転緩めれば、調節可能です。必要以上に緩めないでください。
- 各ロックねじを緩めカメラの向きを調整する場合は、カメラ本体を手で保持した状態で行ってください。

【6】ズームとフォーカスを調整する。

- ①右図のようにズームカバーを開けて、ズームツマミに補助ハンドル (付属品) を差し込み左に回してゆるめ、TELEとWIDE間で移動し、適切な画角を得ます。その後、ズームツマミを右に回して締め、ズームツマミをロックします。補助ハンドルを外しズームカバーを閉じます。



- ②オートフォーカス (AF) ボタンを押してフォーカスを合わせます。

【7】各部のロックねじを締めて固定する。

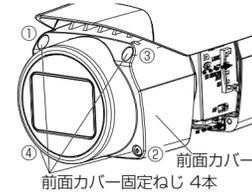
- 【5】～【6】を繰り返しながらカメラアングルと画角を調整し、最後に各部のロックねじを締めて固定します。

- 推奨締付トルク
- PANロックねじ：2.7 N・m {27.5 kgf・cm}
 - TILTロックねじ：9.0 N・m {91.8 kgf・cm}
 - YAWロックねじ：2.7 N・m {27.5 kgf・cm}

【8】ピンケーブルを取り外す。

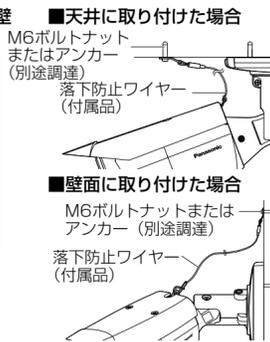
【9】前面カバー部分をカメラに取り付け、前面カバー固定ねじ4か所を締め、固定する。

- 推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}
- ※前面カバー固定ねじは右図のように対角線で締めてください。



【10】落下防止ワイヤー (付属品) を天井または壁面に固定する。

- 重要**
- 落下防止ワイヤー (付属品) 固定用M6ボルトナットまたはアンカー (別途調達) の最低引抜強度は724 N {74 kgf} を確保してください。
 - 落下防止ワイヤー (付属品) は建築物の基礎部分または十分に強度がある部分に固定してください。



【12】保護シートを取り外す。

設置完了後、前面カバー表面の保護シートを取り外してください。取り外したあとは前面カバーの透明部に触れないでください。

Step5 ネットワークに接続する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。カメラの設定が終わったら元の状態に戻してください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

【1】付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする。

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。
- ⇒ CDランチャーメニューが表示されます。



メモ

- CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。
- CDランチャーの詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「CD-ROMを使用する」を参照してください。

【2】IP簡単設定ソフトウェアの [起動] をクリックする。

⇒ [Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面が表示されます。見つかったカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

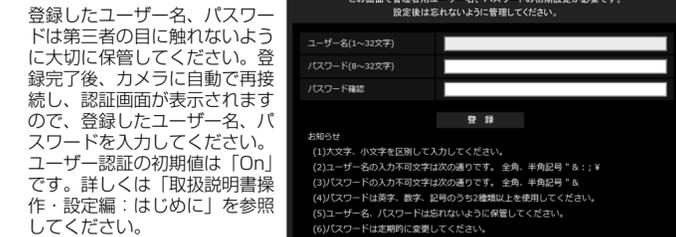
【3】設定するカメラを選択 (①) し、[ネットワーク設定] (②) をクリックしてカメラのネットワーク設定を変更した後に、[カメラ画面を開く] (③) をクリックする。

メモ

- 設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



【4】管理者登録画面が表示されたら、画面に従って管理者のユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックする。



重要

- インターネット経由でご使用の場合、ユーザー認証を「Off」にすると第三者による意図しないアクセスの恐れがあります。ユーザー認証は「On」のままご使用ください。

【5】カメラのライブ映像が表示されたら、ネットワークの接続は完了です。

メモ

- 以下の内容の詳細については取扱説明書 操作・設定編を参照してください。
- カメラを使用する前に、設定メニューの [基本] ページで [日付時刻] の設定を行ってください。
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、H.265 (またはH.264)、MJPEGの表示や音声の受話/送話、ログ表示、全画面表示を行えません。必要な場合はライブ画面の「プラグインソフトウェア」ボタンを押してインストールしてください。
- ご使用のPCの環境によっては映像が出るまでに時間がかかることがあります。
- お買い上げ時、音声の入力は「Off」に設定されています。必要な場合は設定メニューの「音声」ページで設定を行ってください。
- IP 簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります (IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合)。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。
- 前面カバーを取り付けると、ピントが少しずれる場合があります。前面カバーを取り付け、保護フィルムを取り外したあとに、設定メニューからオートフォーカス機能を動作させてください。

画像が表示されない場合は、ウェブブラウザを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照ください。<http://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>